

みなみ野小中学校区地域づくり準備会 議事概要

日時	令和3年(2021年)11月20日(土)10:00~11:45
場所	みなみ野小学校1階 特別活動(多目的)室
出席者	参加者:荒井、大倉、大福、大淵、大山、川崎、糖信、野牧、橋山、平野、山城 高齢者あんしん相談センター片倉:佐藤、安藤 第1層生活支援コーディネーター:今泉 社会福祉協議会支えあい推進課:大和 八王子地域 PAL-ETTE:守屋、鎌田 未来デザイン室:今川、野田、安齋、橋本
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・みなみ野小中学校区地域づくり準備会資料 ・資料1 長房中学校区の地域カルテ(案) ・資料2 中学校区別ワークショップ第2回検討結果 ・資料3 地域づくり推進会議参加確認書の提出について(依頼) ・参考 みなみ野小中学校区における中学校区別ワークショップのアンケート結果について ・参考 令和3年度(2021年度)みなみ野中学校区の実施スケジュール(案)

1. 開会

未来デザイン室から挨拶。

2. 地域づくり推進事業について

未来デザイン室から、地域づくり推進基本方針、地域づくりが目指す姿、地域づくりのイメージ図、地域づくり推進会議の概要、モデル地区の検討状況、今後の流れ等について、みなみ野小中学校区地域づくり準備会資料をもとに説明。参加者からの主な質問は、以下のとおり。

(参加者の意見)

- ・地域カルテは地域住民全員に配布されるのか。また、印刷・配布の予算はどこから出るのか。
→地域カルテの配布対象、部数等については、今後地域づくり推進会議において、参加者の皆様と検討していきたい。地域活動の活性化と充実を目的に活用していただきたいと考えている。印刷・配布については、市で予算をとっている。(未来デザイン室)
- ・この会議はいつまでに結果を出すためのものなのか。
→本日準備会を開催し、来月推進会議に移行させていただきたいと考えている。予定としては、令和3年度(2021年度)中に地域カルテを作成し、令和4年(2022年)の4月から皆様と一緒に地域の行動計画となる「地域別推進計画」を策定していきたいと考えている。その中でどんな取組が必要か、何年かけてその取組を行うのか、皆様と一緒に考えていきたい。まずは最初の1年で、参加者の皆様が協力して取り組めるようなことができると考えている。(未来デザイン室)
- ・地域づくりに関わる市の担当者の人数は足りるのか。
→未来デザイン室の職員と共に、庁内プロジェクトチーム(八王子地域 PAL-ETTE)の職員約80名が地域づくり推進事業に関わっている。また、今後委託業者が運営に入る予定であるため、作業的な部分については業者の力も借りながら取り組んでいく。皆様にお知恵を借りながら、地域がより良くなるために協力して進めていきたい。(未来デザイン室)
- ・地域カルテの作成にあたっては、モデル地区と同じ項目にみなみ野の情報をあてはめていくイメージか。

→地域カルテには、地域固有のページを2ページ分用意しており、そこを皆様に構成からアイデアを出していただき、自由に作成していただきたいと考えている。その他のページの公表されているデータ等については、市があらかじめ情報を入れさせていただく。皆様が持っている写真なども入れられたらと考えている。

3. オリエンテーション

出席者全員による自己紹介。

4. 中学校区別ワークショップ(第2回)の検討結果を振り返ろう

八王子地域 PAL-ETTE が、資料2「中学校区別ワークショップ第2回検討結果」をもとに振り返りを行った。

○みなみ野小中学校区B-1

- ・「ありたい姿」としては、「誰にとっても私の居場所 みなみ野」。
- ・「想い」としては、「世代や国籍は関係なく、地域住民みんなが集い、意見交換や悩み相談ができる拠点をつくりたい。そのための情報発信や運営は得意な住民が行う。誰にとっても居心地が良い地域になるために、みなみ野が持つ独自ルールについて再考したり、ワークライフバランスを地域全体で推進していくことが大切になってくる」等が語られていた。

【ワークショップで出たその他の主な意見】

- ・誰もが集まれる拠点づくりが必要ではないか。
- ・幅広い世代に情報が届くよう、SNSやラジオなど様々な媒体を使うのが良いのではないか。
- ・地域における人材育成が必要ではないか。

○みなみ野小中学校区B-2

- ・ありたい姿は、「みなみの愛 ～自然を愛する、人を愛する～」。
- ・「想い」としては、「来年で創立 25 周年を迎えるみなみ野は、自然の豊かさや人の温かさが特徴的な地域である。住民主体となって広報物作成・情報発信、イベント等を行うことで住民同士の交流を深め、地域愛着へつなげていきたい」等が語られていた。

【ワークショップで出たその他の主な意見】

- ・交流できる場所・機会を作っていくことが必要ではないか。
- ・ユーチューブや地域新聞などを使った情報発信をしてみようか。
- ・みなみ 25 周年を迎えるにあたり、今後発展していくために何が必要か検討すべき。

5. 参加者の「活動内容」、「課題」を共有しよう

○「活動内容」、「活動の課題」を付箋に書き出し発表。

(活動)

- ・放課後子ども教室の運営
- ・高齢化社会の問題、取組等について話し合う場に参加
- ・青少年対策みなみ野地区委員会でイベントを開催
- ・多文化共生社会を推進することに関心を寄せている
- ・高齢者がいつまでも元気で活動できる環境づくりをする団体に所属
- ・民生委員・児童委員や学校関係で地域のことに携わっている

- ・自分の人生を健康に過ごすことができるよう体操、太極拳、卓球、健康マージャンなどの教室を開催
- ・みなみ野自然塾で里山の保全と文化の継承に関する活動を行っている
- ・みなみ野シティ連絡協議会として学校・地域・企業等が連携して行うみなみ野冬のイルミネーションを実施
- ・地域で一斉清掃活動を実施
- ・学校教育政策の提言

(課題)

- ・駅前に集まれる場所が必要
- ・子どもが無料で勉強できる場所がない
- ・高齢化問題に関する知識不足
- ・地域の人が講師となる講座など、学びが必要
- ・学校施設を地域住民が自由に使えるようにしてほしい
- ・地域の人と外国人市民との交流の場づくり
- ・外国人の子どもに対する学習支援
- ・活動団体の担い手不足
- ・高齢者の活動の場が限定されてしまっている(移動困難)
- ・気軽に相談できる窓口がない
- ・活動場所・駐車場が確保できない
- ・住民発信の新たな協働システムを創っていきたい
- ・地域イベントを開催するにあたっての予算確保
- ・地域・学校・企業が集まれる話し合いの場がほしい
- ・提言が政策に反映されていない

※ワーク内容の詳細は別紙参照。

6. 閉会

- ・令和3年度(2021年度)のみなみ野小中学校区地域づくり推進会議の開催日程案等を確認。
- ・地域カルテに載せたい写真等について次回会議へ持参いただくように事務局から依頼。
- ・地域づくり推進会議設置の説明をし、出席した参加者全員から参加確認書の提出により参加意思を確認。

以上

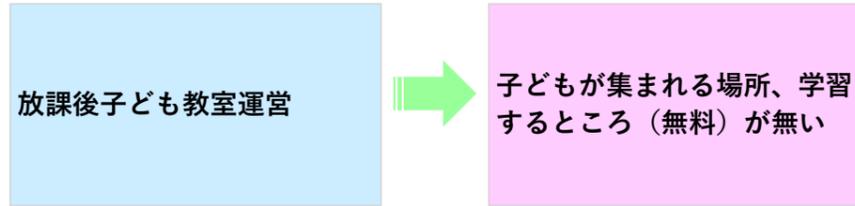
みなみ野小中学校区地域づくり準備会 「準備会参加者の活動内容と課題」

活動
内容

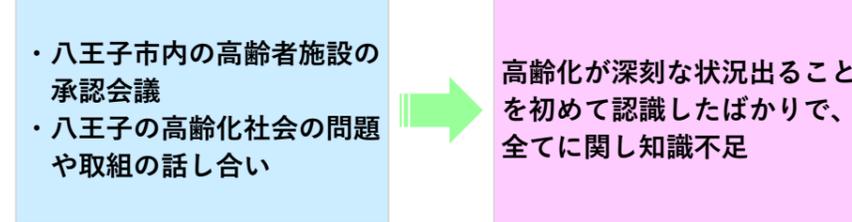
活動の
課題



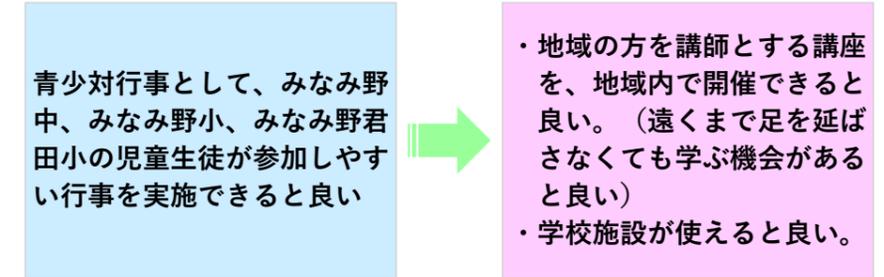
大淵（みなみ野小学校地区放課後子ども教室会長）



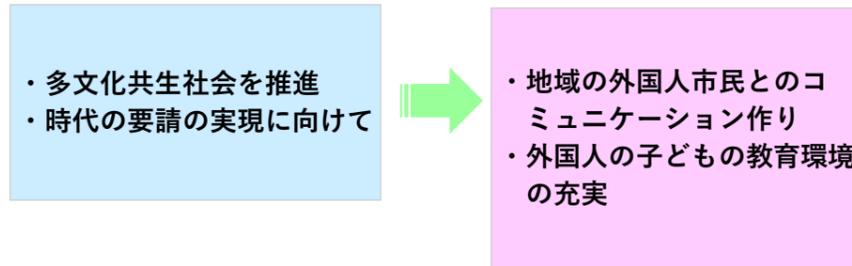
山城（高齢者福祉審議会委員）



大倉（青少年対策みなみ野地区委員会会計）



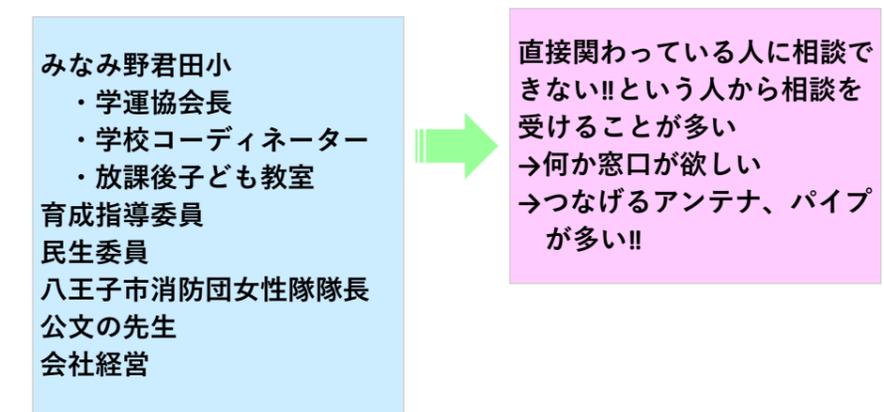
平野（八王子国際協会前理事長）



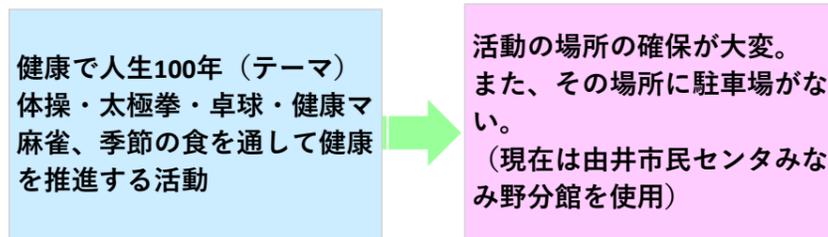
大福（八王子共生社会推進会議理事長）



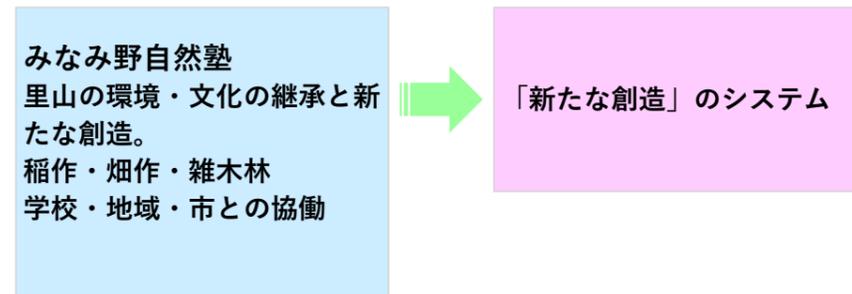
橋山（第16地区民生委員・児童委員）



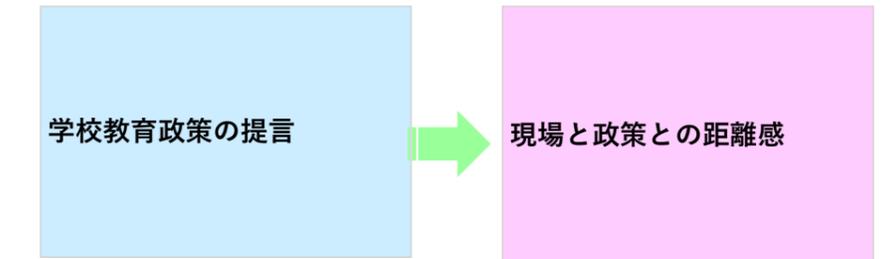
川崎（みなみ野健康推進の会代表）



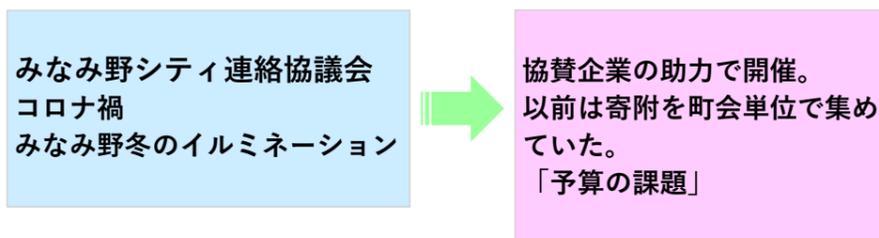
荒井（みなみ野小中学校学校運営協議会会長）



野牧（フューチャーセンター虹の会代表）



糖信（由井地区町自連副会長）



大山（由井西部地域住民協議会理事）

